

BSIA

User Initiated Business & IT system Association

2021年度版

CONTENTS OF ACTIVITIES

www.bsia.or.jp

ご挨拶

● BSIAに寄せる思いと期待

2021年の年次会報を発行するにあたり、ご挨拶申し上げます。

BSIAが活動を始めたのは 2011年2月で、今年はちょうど丸 10年になります。その 10年目が始まった 2020年は予想もしないパンデミックに襲われ、世界の模様が一変してしまいました。得体の知れない新型コロナウイルス (COVID-19) は感染が限定的だった SARSや MERSの時とは異なって、日本にも世界にも大きな恐怖と影響を与えました。その影響は 1年が経過しても改善されることなく、コントロール不能な地域さえ出ています。人類がこのような体験をすることは 100年に一度も無いことだろうと思います。100年以上前にパンデミックとなったスペイン風邪と呼ばれた感染症も多数の感染者と死者を出してしまい、3年越しで収束に向かいました。医療技術も製薬技術も進化した現在でさえ、この感染症をまだ制御できないのです。そして世界中の医療関係者が心血を注いでもまだ先が見えないのです。

このパンデミックによって、社会環境が大きく変化しました。パンデミックを前提としたビジネスや生活が求められるようになりました。それが withコロナであり、ニューノーマル (新常态) です。

顕著であったのが、日本のデジタル対応の遅れでした。民間企業では働き方改革や東京オリンピックの対応として推奨されていたリモートワークが十分な環境整備もないままバタバタと進められました。会議程度はリモートでもできるけれど、書類の印鑑処理に出社する社員がいることから、印鑑問題も噴出しました。

行政のデジタル対応の遅れはもっと深刻でした。感染者の把握やトレースにもデジタル情報を生かすことができず、ファックスで情報を集積している始末です。給付金や支援金の配布にもデータベースやマイナ

● 本年の振り返りと活動目標

2020年の活動は 1月 23日の第 98回事例研究会 (例会) を最後に、コロナの感染拡大によって会場でのリアルな開催が出来なくなり、6ヶ月間活動が停滞しました。例会の特徴とメリットは、講演者と参加者が一体になってインタラクティブに意見交換したり、相互の名刺交換をきっかけに交流を深めたり、講演後に有志で講演者を囲んだ会食をして更に深掘りした意見交換ができるなどリアルな活動にありました。

運営委員会では例会をリモートで開催する事によるメリットの喪失を議論しつつ、会場に容易に来られない地方の皆さんや在宅勤務の皆さんが参加しやすくなるというメリットもあることから、7月 28日の第 99回例会からリモート形式による無料開催で復活しました。8月 26日には第 100回をリモート形式で迎え、株式会社オープンハウス CIOの田口慶二氏に「ニューノーマルをチャンスに変えるために必要な IT組織」についてご講演いただきました。

本来であれば 8月には 300名の皆さんをお迎えして終日シンポジウムを開催し、交流会も行う予定でしたが、コロナ禍で全ての企画が水泡に帰しました。

一方で、ビジネスシステムイニシアティブを実現する人材 (BSI人材) の育成を目的とする「BSI人材育成分科会」が 4月に立ち上がり、7月にはテレワークを始めとする新しいワークスタイルを追求すべく「新ワークスタイル分科会」も立ち上げてリモート形式で活動を続けています。



設立代表者・理事長 木内 里美

バーカードを生かすことができず、複雑な申請と煩雑な処理手順で現場作業は多忙を極めました。行政分野ではデータマネジメントが皆無だったことが露呈したのです。デジタル敗戦国などという自虐的な反省も出てしまいました。

BSIAはこのような世の中になることを憂慮した仲間が集まって、その改善のためにまずは民間企業を対象にして経営と ICTの健全化を目的として活動を続けてきました。2013年 5月には任意団体から特定非営利活動法人システムイニシアティブ協会として認定を受けた組織になり、2015年 7月にビジネスの視点から見る本質を見失わないようにと協会名をビジネスシステムイニシアティブ (BSIA) に改称して現在に至っております。

イニシアティブの主体は ICTの使い手にあります。多くの IT技術者がベンダー企業にいる日本の実態からベンダーに頼らねばならない部分はありますが、過度の依存や丸投げをしないで企画、計画、運用の責任を使い手が取らねばなりません。今回の問題露出は、10年の活動を通じて改善が進んでいないことに愕然とする思いと忸怩たる思いが交錯します。同時にターゲットも明確になり、更なる活動の活性を決意させるものでもありました。

そんな環境で迎えた 2021年ですが、本年の活動もリアルでは難しいだろうと思われます。世の中が落ち着くまでリモートベースの活動をせざるを得ません。

活動テーマもニューノーマル時代を意識せざるを得ません。また、コロナ禍で露呈したデジタル化の遅れにも対応せねばなりません。その一環としてのデジタルトランスフォーメーション (DX) を進める必要があります。

DXについては、2019年 1月の研究会で経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長 (当時) の中野剛志氏をお迎えし、「2025年の崖」で話題になった DXについてのご講演をいただき、過去最大の参加をいただきましたが、その後 500社のアンケート調査で DXに着手していない、あるいは一部に留まっている会社が 95%を占めることが明らかになっています。この実態に鑑みて、経済産業省では年末に DXレポート2中間取りまとめを発表し推進を促そうとしています。

確固たるデジタル基盤を構築し、DXをいかに進めるか。アジャイルな経営を支えるためのアジャイルなシステム構築技術の取り込みや内製化も重要な政策になってきます。

何より先の見えにくい時代のビジネスをデザインしていくことが求められています。突き詰めれば人材。デザイン力のある人材の育成や処遇も急務です。BSIAは優れた人材のコミュニティとなるべく、社会貢献活動を続けていきます。

企業、団体、業種の枠を超え、先進事例の研究、問題解決手法に関する情報交流や相互啓発の支援、主体性を発揮できる情報人材の育成に関する事業を行っています。各活動は運営委員によってレポートが作成され、Webで発信されます。

● ビジネスシステムイニシアティブ実践事例の共有と議論の場

例会

各企業のITリーダーから、企業経営に寄与するIT改革の事例講演をお聴きし、その内容についてのディスカッションを行います。時には学術研究者を招いて、時代の先端技術に関する話も聞きます。ファシリテーターがリードする参加者同士の議論で理解を深めビジネスシステムイニシアティブ実現のポイントを見出していきます。一方通行のセミナーではなく、ディスカッションを通して全員が参加意識を持てる意義ある会議です。

毎月開催、1回毎に異なるテーマ

どの月からでもご参加いただけます。

本音の意見交換

ユーザ、ベンダーを問わない議論が行われ、「ここだけ」の話が飛び出します。

異業種交流

テーブルディスカッションで異業種交流が促進されます。



● シンポジウム

BSIAの活動を広く告知するとともに、時代の先端のICT利用をディスカッションするため毎年1回を目標に公開のシンポジウムを開催しています。時々の企業経営とICT利活用のテーマを掲げ、それに先進的に取り組んでおられる企業責任者から、そのチャレンジと成果、今後のプランなどを講演いただき、ディスカッションも交え、参加者全員でテーマの在り方について考えていきます。

昨年度は「サービタイゼーション」をテーマに、ICTを利用したサービス化の波をディスカッションしました(7ページ参照)が、今年度はコロナ禍の影響を考慮し、見送りとしました。



● 分科会

BSI人材育成分科会 (2020年4月～)

ビジネスシステムイニシアティブを実現する人材育成をテーマとする。ユーザ企業、ITベンダーでは何が人材育成の課題なのか、どのような人材が今必要なのか、今後のDX時代に向けて何をしなければならないのかを議論し、提言を行う。

新ワークスタイル分科会 (2020年7月～)

コロナ禍によって、なかなか進まなかったテレワークが一気に取り入れられるなど働く環境が大きく変貌しようとしています。ニューノーマルな時代を迎えるにあたり、IT環境の在り方、コミュニケーションの取り方、評価の在り方など新しいワークスタイルを議論します。



デジタル座談会 NEW!

「デジタル分科会」では、日本のデジタルイノベーションを話題の中心として、主たるテーマは毎回異なる単発のディスカッションを、2カ月に一度程度の頻度で行っていく予定です。

分科会活動は、少人数でリラックスした雰囲気を実施していこうとしています。特に若手エンジニアの方、ご参加をお待ちしております。

例会講演概要（2020年7月以降の講演）



2020年7月 第99回例会 立川 将 様
株式会社NTTデータ 技術開発本部 エポリューション
ITセンタ 次世代イノベーション技術担当 主任
講演タイトル:量子コンピュータの仕組みと活用動向

量子コンピュータは、計算負荷が高く既存のコンピュータでは処理時間のかかる問題を、大幅に高速化できる可能性を秘めており、大きな期待を集めているアーキテクチャです。このようなアーキテクチャは、大きくゲート型とアニーリング型に分類できますが、NTTデータではアニーリング型のマシンの活用に関心をもち、お客様との技術開発に取り組んでいます。本勉強会では、ゲート型とアニーリング型の両方の簡単な仕組みをご説明した後、現状の動向や、今後の活用に向けて抑えておくべきポイントを紹介いたします。



2020年8月 第100回例会 田口 慶二 様
株式会社オープンハウス 執行役員
最高情報責任者(CIO)
講演タイトル:ニューノーマルをチャンスに変えるために必要なIT組織とは

コロナ禍においてDXが遅れてしまった為、経営自体に影響が出始めている企業が多いと思料致します。しかしながら、過去日本の30年を振り返るとバブル崩壊、ITバブル、e-Japan戦略、BCP、リーマンショックなどITを取り巻く外部要因の変化を適切に企業が主体的に取り込んで来ていれば想定内であったのではないのでしょうか。2020年2月の定例会にてご紹介させて頂く予定であったオープンハウスグループにおけるIT戦略策定、IT組織の立上げ、DXにおける事例、直近のコロナ禍における気づき、これから目指すべき方向性をCIOの視点からご紹介させて頂きながら、事業会社において自走できる強いIT組織をどう作っていくべきかについて、参加頂きました皆さまと奇譚のない意見交換をさせて頂く機会となれば幸いです。



2020年9月 第101回例会 廣田 豊 様
TDIプロダクトソリューション株式会社 代表取締役社長
奥野 仁勝 様
TDIプロダクトソリューション株式会社
ソリューション開発部 部長
講演タイトル:効率化への苦悩 ～生産現場でIoT本格導入が進まない、POCから抜け出すコツ～

『IoT元年』と呼ばれた2017年から4年経ち、IoT導入に取り組む企業が増えたと思います。しかしながら、未だにPOC(Proof of Concept:概念実証)を繰り返す企業が多いように見えます。経営層や組織の効率化意欲が先走り、目的と手段が結びつかないままIoT導入を進めてしまった結果、「POCから全社展開に移行できない」、「POCで行き詰まり、そのまま終息してしまう」など「IoT導入イコールPOC」となってしまう現状をよく耳にします。我々が携わっているIoT導入事例のうち成功事例、失敗事例を紹介、POCの繰り返しで終わらないIoT導入の考え方について共に勉強しましょう。



2020年10月 第102回例会 藤堂 高明 様
株式会社ファーストグループ 代表
講演タイトル:中小企業におけるデジタルトランスフォーメーションの実践と課題 ～田舎の自動車修理工場がMaaSで地域経済を活性化～

地方の中小企業には大いなる可能性がある。その理由として①地方を主体としているため競争が少ない②中小企業であるため大手の参入が少ない。一方で、DX化が遅れているため経営のミラミダラも多い。地方の中小企業を起点とした事業の産業化の可能性について発表したい。



2020年11月 第103回例会 松本 毅 様
一般社団法人Japan Innovation Network
常務理事
講演タイトル:成果を出し続けるオープン・イノベーションの仕組み創り ～ISOに則したオープン・イノベーション推進のすすめ～

2009年から大阪ガスにおいてゼロからオープン・イノベーションのマネジメントシステムを創り上げました。開始(2009年)から10年(2019年)で、669件の課題・ニーズを公開し、外部ソリューション獲得が5934件、OJ室から原局への紹介が1120件、新たな共創・パートナーシップ開始が354件、新規商品化・新規事業化に繋がったのが64件以上(年に6件以上)。圧倒的な成果を出し続けています。さらに世界で初めてISO化されたイノベーション・マネジメントシステム(IMS)に則したオープン・イノベーションの進め方をご紹介します。



2020年12月 第104回例会 三枝 幸夫 様
出光興産株式会社 執行役員
CDO・デジタル変革室長
講演タイトル:100年企業のデジタル変革

新型コロナウイルスは、人々の生活におけるデジタル利用の頻度を高め、数年で起きると言われていた変化のスピードを一気に早めました。一方で、多くの企業がそのスピードに対応しきれず、変革スピードを早める必要性を実感し、着手しています。顧客の新たな体験価値を創造するため、いかに自らを変革するか。出光興産での取り組み事例を交えて、変革を実現するために大切なことや課題解決方法について実体験を元にお話します。



2021年1月 第105回例会 花田 琢也 様
日揮ホールディングス株式会社 常務執行役員 CDO、
デジタル管掌 人財・組織開発管掌
講演タイトル:デジタル変革[DX]を推進するための人財・組織開発の戦略とは

【DX】がニューノーマル時代を勝ち抜く切り札のように語られることが多い昨今、DXとは、企業を「ギアチェンジ」してHighwayを疾風させる巧妙な処方箋と成るのか。デジタル部門と人事部門がリードしてDXを加速させるために、人財開発に併せて、デジタル変革の進化レベルにより、DX推進の組織の在り方を変えていく。企業のITリテラシー向上とは?デジタル系ガバナンス強化とは?DX推進のための具体的な仕組みづくりをご紹介します。



2021年2月 第106回例会 遠藤 洋路 様
熊本市教育委員会教育長
講演タイトル:GIGAスクール構想で学校はどう変わるか

文部科学省が進めるGIGAスクール構想により、1人1台の端末導入など学校のICT化が急速に進んでいます。こうした動きは、単に新しい道具を導入することに留まらず、学校の役割や先生と生徒の関係など、これまでの学校のあり方を大きく変える可能性を秘めています。この講演では、広範な学校改革の一環としてICT導入を進める熊本市の事例を中心に、学校のICT化の現状や今後の学校像についてお話します。

例会講演リスト（2011年4月から2021年2月までを掲載。）

1	2011.4	丸投げ&ロックイン構造からの脱却	熊野 憲辰 氏 (ゼリア新薬工業株式会社)
2	2011.5	病院におけるユーザー主導のシステム導入・活性術	杉浦 和史 氏 (杉浦技術士事務所)
3	2011.6	情報経費を半分に! ～システム開発のパラダイムシフト	内山 東平氏 (情報科学研究所)
4	2011.7	目利きになろう! ～韓国ソフト事情紹介とディスカッション	木内 里美 氏 (大成ロテック株式会社)
5	2011.8	情報システム内部監査から見た『ユーザー主体のシステム開発』	田中 幸一 氏 (東京海上日動火災保険株式会社)
6	2011.9	丸投げからの脱却 ～IT部門内教育とベンダーとの関係改善について	鈴木 康宏 氏 (株式会社日本公文教育研究会)
7	2011.10	システム開発におけるベンダーマネジメント	油野 達也 氏 (インフォテリア株式会社) / 堀野 史郎 氏 (アカマイテクノロジーズ)
8	2011.11	システム開発契約におけるシステムイニシアティブの留意点	野々垣 典男 氏 (株式会社JTB情報システム)
9	2011.12	ベテラン編集者が語る! システムイニシアティブこの1年	田口 潤 氏 (インプレスビジネスメディア社) / 谷島 宣之氏 (日経BP社)
10	2012.1	変化する時代、問われる企業IT化のあり方	桑原 里恵 氏 (札幌スパークル)
11	2012.2	ベンダーからグリップ(責任と執行)をとりもどせ!	長谷川 秀樹 氏 (株式会社東急ハンズ CIO)
12	2012.3	偽者は要らない、本物のSEだけが企業を救う	青木 明雄 氏 (情報システム基盤コンサルタント)
13	2012.4	この閉塞する日本を改革できるのは、情報システムの力しかない	横塚 裕志 氏 (東京海上日動システムズ社長)

14	2012.5	企業内アントレプレナーと業務キュレーションの重要性	田辺 要平氏 / 畑石 千裕氏 (大成建設株式会社)
15	2012.6	ジンギスハーンにマネジメントを学ぶ	浜本 知一 氏 (株式会社富士テクノソリューションズ)
16	2012.7	IT 経営によるユーザ主体性の真骨頂	齋藤 正勝 氏 (カブドットコム証券株式会社 社長)
17	2012.8	基礎自治体はさながら情報処理工場、そこで働く職員が情報システムの主導権を握らなければ、住民のための仕事ができるはずがない	吉田 稔 氏 (西宮市CIO補佐官兼西宮市情報センター長)
18	2012.9	流通小売企業の IT 活用におけるイノベーションへの挑戦	西川 晋二 氏 (株式会社トライアルカンパニー CIO)
19	2012.10	日本発の E-Commerce 企業におけるビッグデータ戦略と未来への課題	森 正弥 氏 (楽天技術研究所長)
20	2012.11	グローバル化を勝ち抜く、企業IT強化の処方箋 ～梶子 (IT 基盤) づくり、人づくり、仕組みづくり～	矢澤 篤志氏 (カシオ計算機株式会社 執行役員)
21	2012.12	経営とITの融合 ～強い企業を支えるITは自ら考える～	小佐野 豪績氏 (ヤマトホールディングス株式会社執行役員)
22	2013.1	ダイバーシティが日本を元気にする～マイノリティは見た、日本の実態	劉 忱 (リュウ シン) 氏 (株式会社ソフトロード社長) / Atsushi Taniguchi 氏 (SAP) / 浦田 有佳里 氏 (住宅金融系 IT ベンダー)
23	2013.2	最適な IT 投資の実現に向けて	河崎 幸徳 氏 (株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部 部長)
24	2013.3	情報システム部門の組織 ユーザー企業の情報子会社のあり方について	小田 滋 氏 (DIC 株式会社 情報システム本部長)
25	2013.4	農業専門紙の意地として ～「新市況システム 2010」開発物語	永井 孝介 氏 (株式会社日本農業新聞 編集局長)
26	2013.5	マチのほっとステーションを支える情報システム	佐藤 達 氏 (株式会社ローソン 執行役員 CIO 兼 IT ステーションディレクター)
27	2013.6	情報システム部門における人材育成の事例紹介	沼 英明 氏 (ノバルティス ファーマ株式会社 企画管理本部 執行役員 情報システム事業部長)
28	2013.7	札幌市における利用者主導での基幹系情報システム再構築の取り組み	長沼 秀直 氏 (札幌市総務局情報化推進部 IT 推進課システム開発担当課長) ほか
29	2013.8	自社開発を主体とした積水化学の IT の取り組みについて	寺嶋 一郎 氏 (積水化学工業株式会社 経営管理部 情報システムグループ長)
30	2013.9	情報システム部門のマネジメントを考える	坪井 祐司 氏 (株式会社 LIXIL 上席執行役員プロダクツカンパニー CFO)
31	2013.10	Honda における IT 部門の役割と責任	有吉 和幸 氏 (本田技研工業株式会社 IT 本部長代行 参事)
32	2013.11	共通ポイントカード利用者のデータ分析結果を活用した収益拡大への取り組み事例	宮田 洋 氏 (遠州鉄道株式会社グループ経営推進本部経営企画部長)
33	2013.12	アーキテクチャ主導の企業情報システムへ	中山 嘉之 氏 (株式会社アイ・ティ・イノベーション シニアコンサルタント)
34	2014.1	2014 年のシステムイニシアティブ ～新しいパートナーシップの構築に向けて～	超高速開発コミュニティ / 石毛 信次 氏 (ブックオフコーポレーション株式会社 T 統括部運用グループ マネージャー) / 今林 豊 氏 (株式会社市進ホールディングス 情報管理部 副部長)
35	2014.2	分析力を武器とする IT 組織になる～大阪ガスの挑戦～	河本 薫 氏 (大阪ガス株式会社情報通信部ビジネスアナリシスセンター所長)
36	2014.3	事例から学ぶ、大手企業の対等合併に伴う IT 統合	佐々木 典夫 氏 (IT コンサルタント)
37	2014.4	旅館における IT の活用事例	宮崎 富夫 氏 (鶴巻温泉 元湯陣屋 代表取締役社長)
38	2014.5	リコーのグローバル IT ガバナンスの取り組み	石野 普之 氏 (株式会社リコー 理事 経営革新本部副本部長)
39	2014.6	良好な関係に良好なシステムが宿る～超高速開発手法を利用したユーザ主体の基幹システム開発事例～	今林 豊 氏 (株式会社市進ホールディングス 情報管理部 IT 戦略推進室 副部長) / 斉藤 明 氏 (株式会社市進ホールディングス 情報管理部 IT 戦略推進室 課長補佐) / 福嶋 進太郎 氏 (株式会社アイ・ティ・フロンティアシステムグループ プラットフォームアセンブルユニット)
40	2014.7	日本型ハイブリッド経営の一例 情報技術と経営の融合	安崎 暁 氏 (株式会社小松製作所 元社長・会長)
41	2014.9	30 年振りの業務系基幹システム刷新	石毛 幾雄 氏 (山崎製パン株式会社 計算センター室長)
42	2014.10	23 町村中 18 町村が参加。国内最大規模の自治体基幹系業務システム共同化の経緯	市瀬 英夫 氏 (埼玉県町村会 参事 情報システム共同化推進室長)
43	2014.11	顧客との信頼確立 ～明豊の CM サービスとそれを支える独自のシステムについて～	坂田 明 氏 (明豊ファシリティアークス株式会社 代表取締役社長)
44	2014.12	すしクラウド ～クラウドファーストからクラウドネイティブへ進化～	田中 寛 氏 (株式会社あきんどスシロー 情報システム部長)
45	2015.1	システムイニシアティブの核心に迫る！～SIA 分科会からの報告～	パートナーシップ分科会：佐々木 典夫 氏 (座長・IT コンサルタント) +1-ザ- 8 名 企業の成長を支える PMO 分科会：永谷 裕子 氏 (座長・㈱アスカプランニング) IT 部門の人材育成検討分科会：鈴木 康宏 氏 (座長・㈱日本公文教育研究会)
46	2015.2	次世代の CIO に求められるもの	塚本 裕昭 氏 (マイラン製薬株式会社 インフォメーション・テクノロジー部 部長)
47	2015.3	情報システム部の構造改革	加藤 恭滋 氏 (大和ハウス工業株式会社 執行役員・情報システム部長)
48	2015.4	ビジネス拡大の足かせではなく変革の推進力になるための挑戦	久本 英司 氏 (株式会社星野リゾート グループ情報システム ユニットディレクター)
49	2015.5	馬鹿な営業は要らない！	恩田 明 氏 (全日本食品株式会社 上席執行役員 情報システム本部 本部長)
50	2015.6	IT によるビジネス貢献	引地 久之 氏 (日本たばこ産業株式会社 IT 部長)
51	2015.7	「特許庁業務・システム最適化計画」への取り組み	中村 敬子 氏 (特許庁 総務部情報技術企画室長)
52	2015.10	ローマ帝国に学ぶ IT の役割	橘高 政秀 氏 (住友ゴム工業株式会社 IT 企画部長)
53	2015.11	IT 部門を取り巻く環境変化とその備えー広がる役割、高まる期待への対応とは！	金 修 氏 (一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 専務理事)
54	2015.12	「システムイニシアティブを取り戻せ」～システムイニシアティブを失った IT 部門がイニシアティブを取り戻す方法～	立花 秀樹 氏 (リゾートトラスト株式会社 情報システム部 業務改善課長)
55	2016.1	模倣の経営学～偉大な会社はマネから生まれる～	井上 達彦 氏 (早稲田大学商学学術院教授・インキュベーション推進室長)
56	2016.2	BSIA パートナーシップ分科会からの報告	パートナーシップ分科会：佐々木典夫 (座長・IT コンサルタント) 高橋俊夫氏、宇羅勇治氏、米田正明氏、山本康氏、堀越雅朗氏、安藤和美氏、富谷喜一氏
57	2016.3	ミサワホームの IT 再構築「クラウドファースト」と「パイモダール」へのチャレンジ	宮本 眞一氏 (ミサワホーム株式会社 企画管理本部 情報システム部 部長)
58	2016.4	価値創造の仕組み ～人と人との繋がりが新しい価値を創造する～	竹林 一氏 (オムロン株式会社 京阪奈イノベーションセンタ オープンイノベーション担当)
59	2016.5	LIXIL のグローバル IT 戦略	小和瀬 浩之氏 (株式会社 LIXIL 上席執行役員 CIO 兼 情報システム本部 本部長)
60	2016.6	Global One Takeda に向けたビジネスの変革を支える IS/IT の変革とデジタルへの取り組み	沼田 智氏 (武田薬品工業株式会社 グローバルインフォメーションテクノロジー リージョン CIO 製薬&サプライシステムズヘッド)

61	2016.7	KUMONのグローバルシステム「KiDS」の高速開発と短期導入 ～国内の改革を海外にどう活かしたか～	鈴木 康宏 氏 (株式会社公文教育研究会 グローバル ICT 戦略室 室長)
62	2016.8	FinTech 銀行が受けるインパクト	佐藤 宏昭 氏 (株式会社八十二銀行 執行役員システム部長)
63	2016.9	札幌市基幹系情報システム再構築の経験から学ぶ「発注者主導の心得」	田中 寛純 氏 (Josys-led 代表)
64	2016.12	東京ガスのITの現状と電力・ガス自由化に向けて	沢田 和昌 氏 (東京ガス株式会社 IT 活用推進部長)
65	2017.1	迫り来るシンギュラリティと人類の未来	松田 卓也 氏 (神戸大学 名誉教授)
66	2017.2	こうすれば良好なパートナーシップを構築できる!	BSIA パートナースHIP分科会
67	2017.3	データ経営によるビジネス変革への挑戦	土屋 哲雄 氏 (株式会社ワークマン 常務取締役情報システム / ロジスティクス担当)
68	2017.4	ベンチャー企業と大企業の文化の間で揺れる私が行き着いた「バイモータル戦」	小野 和俊 氏 (セゾン情報システムズ常務取締役 CTO/ アプレッソ代表取締役社長)
69	2017.6	デジタルトランスフォーメーション時代のデータ活用の在り方について考える	高橋 範光 氏 (株式会社チェンジ執行役員 Analytics & IoT 担当)
70	2017.7	IoT ビジネス時代における IT 部門の役割	田井 昭 氏 (コニカミノルタ株式会社 執行役 IT 企画部長)
71	2017.8	次なる 100 年を拓く、ヤンマーグローバル IT 戦略 A SUSTAINABLE FUTURE ～テクノロジーで、新しい豊かさへ	矢島 孝應 氏 (ヤンマー株式会社 ビジネスシステム部 執行役員 部長)
72	2017.9	日産自動車における IS/IT 中期戦略の歩みと IS/IT トランスフォーメーションの取り組み	木附 敏 氏 (日産自動車株式会社 グローバル IT 本部 本部長)
73	2017.10	戦略策定と戦略実現の手ほどき	中田 康雄 氏 (株式会社中田康雄事務所 代表取締役 (元カルビー株式会社 代表取締役社長兼 CEO、CIO))
74	2017.11	経営における CIO の責務とビジネスアナリスト 日立の初代 CIO が語る経営とビジネスアナリスト	上田 靖之 氏 (株式会社日立製作所 初代 情報システム管理本部長)
75	2017.12	デジタルトランスフォーメーションに求められるシステム開発手法アジャイルとスクラムとは～価値、原則、プラクティス～	安井 カ 氏 (アジャイルコーチ、コンサルタント)
76	2018.1	サッポログループにおける IT インフラ統合	駒澤 正樹氏 (サッポログループマネジメント株式会社 グループ IT 統括部 シニア イノベーション エキスパート)
77	2018.2	なぜベンダーマネジメントは上手くいかないのか? ～ プロジェクト成功への処方箋 ～	BSIA パートナースHIP分科会
78	2018.3	ビジネスシステムイニシアティブを手中に ～ DeNA IT 戦略部の取り組み ～	成田 敏博 氏 (株式会社ディー・エヌ・エー 経営企画本部 IT 戦略部 部長)
79	2018.4	業務システムのグローバル最適化への取組みと事業を横断したデータ管理基盤の構築	田中 秀樹 氏 (セイコーエプソン株式会社 IT 推進本部 情報化推進部 部長)
80	2018.5	沖縄流「Eco まるマネジメント」による業務プロセス改善活動と RPA 導入までの歩み	松田 貴久美 氏 (オリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社 企画開発部 IT 企画チーム)
81	2018.6	データ駆動型経営への招待 ～ Data is New Oil ～	油野 達也 氏 (株式会社データビークル 代表取締役 CEO)
82	2018.7	デジタル・トランスフォーメーション	神岡 太郎 氏 (一橋大学 商学研究科 工学博士)
83	2018.9	日本の臨床検査サービスを下支えしながら、新ステージにビジネスを変革させてゆく為の IT 改革	金子 昌司 氏 (みらかホールディングス株式会社 IT 本部長)
84	2018.10	システムリフォーム (ユニチカモデル) で実現した成長する基幹システム	近藤 寿和 氏 (ユニチカ株式会社 情報システム部 部長)
85	2018.11	あなたの知らない情報セキュリティの世界	石田 淳一 氏 (株式会社アールジェイ 代表取締役)
86	2018.12	データで変える物流ビジネス ～ 見える化で解決する物流の効率化 ～	加藤 由貢 氏 (トランコム株式会社 物流サービスグループ 営業本部 ゼネラルマネージャー 兼 Digital Transformation 推進室室長)
87	2019.1	デジタルトランスフォーメーション(DX)について ～ IT システム「2025 年の崖」の克服と DX の本格的な展開 ～	中野 剛志 氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長)
88	2019.2	どのような発注者が大規模 IT プロジェクトを成功させるのか ～ 備えておくべき7つの行動特性 ～	野々垣 典男 氏 (慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 修士課程。米国 PMI 認定 PMP(Project Management Professional))
89	2019.3	変革を実現に導く企業 IT のパラダイムシフトと IT 部門の新たな役割	広井 邦彦 氏 (サイボウズ株式会社 ビジネスマーケティング本部 BPM 部 シニアコンサルタント)
90	2019.4	日本企業のデジタルレディネス ～現状分析の結果レポートと簡易版デジタルレディネス診断～	飯島 淳一 氏 (国立大学法人 東京工業大学 工学院 経営工学系 エンジニアリングデザインコース 教授、工学博士) 池上 遼香 氏 (国立大学法人 東京工業大学 工学院 経営工学系 経営工学コース 修士課程 1 年、飯島研究室所属)
91	2019.5	マイノリティを活かすサンデンの改革 ～地方・女性・IT の価値～	辻 裕理 氏 (サンデンホールディングス株式会社 執行役員 CIO IT 本部長)
92	2019.6	成長戦略を支える、IT 部門の“トランスフォーメーション”	大熊 眞次郎 氏 (カシオ計算機株式会社 情報開発部長)
93	2019.7	事業戦略を支える IT 部門へ ～コーセーのこれまでの取り組み～	小椋 敦子 氏 (株式会社コーセー 執行役員 情報統括部長)
94	2019.9	企業で活躍するデータサイエンティストの能力定義	河本 薫 氏 (滋賀大学データサイエンス学部教授 兼 データサイエンス教育研究センター副センター長 (元 大阪ガス (株) ビジネスアナリストセンター所長))
95	2019.10	ワコールウェブストアが考える、令和時代のマーケティング ～「顧客をマーケティングする」から「顧客からマーケティングされる」時代に～	大数 範子 氏 (株式会社ワコール WEB 販売事業部 ウェブストア営業部 ウェブストア営業企画課 課長)
96	2019.11	SG ホールディングスグループにおける IT 戦略の歩みと今後の展望	谷口 友彦 氏 (SG ホールディングス株式会社 執行役員 IT 戦略担当)
97	2019.12	株式会社ビズリーチの AI 室の活動と事例のご紹介	竹内 真 氏 (株式会社ビズリーチ 取締役 CPO 兼 CTO)
98	2020.1	ウシオグループにおける「攻め」と「守り」の IT 戦略 ～デジタルイノベーションの創出と IT 部門の変革に向けて～	須山 正隆 氏 (ウシオ電機株式会社 経営統括本部 IT 戦略部門 部門長)

関西例会

1	2018.10	次なる 100 年を拓く、ヤンマーグローバル IT 戦略 A SUSTAINABLE FUTURE ～ テクノロジーで、新しい豊かさへ～	矢島 孝應 氏 (ヤンマー株式会社 取締役 ビジネスシステム部長)
2	2019.2	システムリフォーム (ユニチカモデル) で実現した成長する基幹システム	近藤 寿和 氏 (ユニチカ株式会社 情報システム部 部長)
3	2019.3	デジタルトランスフォーメーション (DX) について ～ IT システム「2025 年の崖」の克服と DX の本格的な展開～	中野 剛志 氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長)

デジタル時代の新たな潮流サービタイゼーション

～デジタルを駆使したサービスが企業に変革の力を与える!～

主催:ビジネスシステムイニシアティブ協会

日時:2019年8月28日(水)

場所:秋葉原UDX

セッションスケジュール

トラックA	トラックB
基調講演 「技術の進歩は人々の幸せのために!」 株式会社 hapi-robo st 代表取締役社長 ハウステンボス株式会社 取締役CTO 富田 直美 氏	
「IT部門が攻めの姿勢で 経営リスクを回避!」 ～システムリフォームによるレガシーからの脱却～ 株式会社村田製作所 情報技術企画部 シニアスペシャリスト 武蔵 史明 氏 (株式会社ソフトロード) 	「モノづくり工場の改善・改革(TPS)& イノベーションのデコであるITとの シナジー効果による誰でもすぐに 出来る企業競争力向上」 協和工業株式会社 ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所 代表取締役 代表取締役 鬼頭 佑治 氏 當仲 寛哲 氏  
「クラウドで知っておきたい基礎知識 『クラスタリング』『オートスケール』 『マイクロサービス』の違い」 株式会社ジャズミンソフト 代表取締役 賛 良則 氏 	「Neusoftから見る中国の IT市場の過去、現在と未来」 ～中国へ進出した日本企業のIT戦略と DX時代で直面する課題および解決策～ Neusoft Cloud Technology Co., Ltd. Marketing & Consulting Dept. Senior Manager 陳 文 氏   Senior Adviser(上席顧問) 田口 佳孝 氏
特別講演 「IT活用による旅館改革とその展望」 株式会社陣屋 代表取締役 女将 宮崎 知子 氏 	
参加者全員によるテーブルディスカッション	
「職人技を数値化した HILLTOPの製造サービス」 HILLTOP株式会社 経営戦略部長 山本 勇輝 氏 	「総合スポーツクラブ事業における IT活用の取り組み」 ～「事」のデジタル化事例～ 株式会社ルネサンス IT戦略部長 鈴木 重美 氏 
「武器を持った情シスが会社を変える」 ～スピード感あるイノベーションを可能にする ために私たちができる事～ 京王電鉄株式会社 経営統括本部 デジタル戦略推進部長 感性AI株式会社 代表取締役社長 CEO 京王ITソリューションズ 取締役 虻川 勝彦 氏 サイボウズ株式会社 営業戦略部 副部長 木地谷 健介 氏 	「デジタル化企業が追い求める 製造業DX理想型」 Mipox 株式会社 代表取締役社長 渡邊 淳 氏 (株式会社セールスフォース・ドットコム) 
「東京ガスのデジタルイノベーション」 東京ガス株式会社 執行役員 門 正之 氏 	「カスタマーオリエンテッドを実現する デジタルトランスフォーメーションの 取り組み」 みずほフィナンシャルグループ 株式会社Blue Lab CTO 大久保 光伸 氏 

分科会報告

BSI人材育成分科会

当協会の名前にもなっている「ビジネスシステムにおいてイニシアティブを取ることができる人材(BSI人材)」を育成することをテーマに、20余名のメンバーで「そもそもBSI人材とは?」「世の中の動向、ベストプラクティスは?」「すぐに対策したい問題って何?」といった議論を重ねています。

今年度は、4月のキックオフの後、BSI人材に関係する知識やベストプラクティスを各界の識者からの講演を開き、その後、先進各社の取り組みを紹介する機会を設けました。12月からは今年度のまとめとして、BSI人材の定義、現状のベストプラクティスとBSI人材育成課題をまとめられています。年度末には、今年度の成果をまとめBSIAの皆さんに公開します。

これまで各界の識者から以下のようなベストプラクティスを伺いました。

- BABOKについて
- 教育界の人材育成カリキュラム
- 中部電力の人材育成とCITP
- リクルートのボトムアップ能力開発実践例とデジタル時代に求められるPMコンピテンシー
- 青山学院大学で実施している社会人教育の事例(ADPISA)
- 東京海上日動火災保険のITIL事例

座長:青山学院大学 教授 居駒幹夫

新ワークスタイル分科会

2020年、COVID-19の感染拡大から緊急事態宣言が発出され、テレワークなど仕事のやり方について大きな影響を受けました。

ここでは、メンバーの所属する会社での対応状況、経験を踏まえて、ニューノーマルの時代に想定しておくべき課題を整理し、一定の提案ができるような議論を進めることを目的としています。

2020年に6回の会合を開催し、意見交換を続けております。

これまで議論の対象としたテーマは、以下のとおりです。

- 「リコーITソリューションズにおける働き方」
- 「リモートワークの課題解決とBPM」
- 「コニカミノルタで取り組んできたワークスタイル変革」
- 「新ワークスタイルについて別の角度からの視点」
- 「富士ソフトのワークスタイル」

座長:土肥亮一

パートナーシップ分科会

パートナーシップ分科会ではEndユーザと開発パートナーの役割、業務分担は如何にあるべきかを2年余にわたり議論を続け、「ITプロジェクト 逆転のシナリオ」と題する小説風にまとめ上げました。

舞台は、呉服業界。主人公は昭和の男「佐々木修」と、ITベンダーの若きプロジェクトマネージャー「前田理沙」です。

ITプロジェクトの成功率は、約50%という統計もあります。その失敗の背景・原因は、BSIA活動の主要テーマでもある、下記のようなものでしょう。

- ・ ユーザ企業とITベンダーのコミュニケーションの不備
- ・ ベンダー丸投げ
- ・ プロジェクトマネージメントの不足

このような、「IT業界、失敗あるある」が前半のストーリーで語られ、その後プロジェクトは、デスマーチ・メンタル不調と混迷を極めることとなります。このような状況から、佐々木・前田を中心としてプロジェクトに少しずつ変化が起こります。そしてついに好転しプロジェクトに光が差し始めます。

全9章、全33話の「逆転のシナリオ」是非ご一読ください。

「逆転のシナリオ」URL:<https://bsia.or.jp/corporate/novel/>

法人正会員

株式会社アイ・アイ・エム
IIMヒューマン・ソリューション株式会社
青山学院大学 社会情報学部附属
リエゾンラボ ADPISA(通称ADPISA)
株式会社ウイング
株式会社オラン
株式会社オープンストリーム
クオリティソフト株式会社

サイボウズ株式会社
株式会社ジャスミンソフト
情報技術開発株式会社
株式会社ソフトロード
株式会社ディー・ディー・エス
株式会社データ総研
日本インサイトテクノロジー株式会社

株式会社日立製作所
ヒロ・ビジネス株式会社
ピースミール・テクノロジー株式会社
一般社団法人BPMコンソーシアム
ブレインズコンサルティング株式会社
有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所
ローコード開発コミュニティ
(50音順・21社)

個人正会員

安部 真行 新家 敦
岸川 剛 陳 文
坂本 克也 平山 倫二
庄司 敏浩 松田 信之
(50音順・8名)

理事

理 事 長	木内 里美(株式会社オラン)
副理事長	寺嶋 一郎(TERRANET)
	當仲 寛哲(有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所)
理 事	有吉 和幸(オフィス有吉)
	内山 東平(情報科学研究所)
	小河原 茂(鴻池運輸株式会社)
	河崎 幸徳(株式会社ふくおかフィナンシャルグループ)
	鈴木 康宏(株式会社公文教育研究会)
	田口 潤 (株式会社インプレス)
	西川 晋二(株式会社トライアルホーディングス)
	沼 英明 (F&Pコンサルティング)
	林 浩一 (ピースミール・テクノロジー株式会社)
監 事	堀越 雅朗(株式会社データ総研)
	広川 敬祐(HBSHiroBusinessSolutions広川公認会計士事務所)

準会員

1,051社 1,586名
(2021年1月末現在)

入会ご案内

会員種別		年会費
個人正会員	・この法人の目的に賛同する個人。 ・総会での議決権を持ちます。 ・例会の参加が無料です。 ・例会ビデオを無料でご提供します。 ・その他、正会員向けの特別割引やサービスを受けることができます。	2万5千円
法人正会員	・この法人の目的に賛同し賛助する団体。 ・総会での議決権を持ちます。ただし、議決権は法人単位とするため、複数の部門が入会している法人の場合の議決権は1個です。 ・1回の例会に1法人・1口あたり2名が無料で参加できます。 ・当協会のホームページに企業ロゴを掲載します。 ・メルマガでの自社イベント紹介等、法人正会員向けサービスを受けることができます。 ・例会ビデオを無料でご提供します。 ・その他、正会員向けの特別割引やサービスを受けることができます。	10万円/1口*1
準 会 員	・この法人の目的に賛同し、セミナーなどの事業に参加する個人。 ・総会での議決権はありません。 ・当協会からのご連絡などのために、会員登録(メルマガ登録)をしていただきます。 ・例会にご参加された方は準会員として会員登録をします。	無料*2

*1 1口から何口でもお申込可能です

*2 準会員は年会費は無料ですが、有料の事業に参加される場合は、参加の都度料金をお支払いいただきます。



お申込み・お問い合わせ

ビジネスシステムイニシアティブ協会事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋3-3-3 ペリカンビル 3F (有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所内)

TEL : 03-3432-1174 Eメール : info@bsia.or.jp

www.bsia.or.jp